

# Profile

日展作家

## 玉城 栄一 *Eiichi Imaki*

- 1947年：沖縄県生まれ。看板、肖像画の店を営む父親のもと、絵具の中で一日中遊ぶ少年であった。
- 1977年：武蔵野美術大学通信教育課程で絵画の基礎を学ぶ。
- 1982年：名渡山愛擴先生、桐野江節夫先生に師事する。百年余の歴史を持つ光風会展に初出品、以来毎年出品。
- 1987年：日本最大の総合美術展である第19回日展に初出品にして入選する。以来毎年出品。
- 1997年：第83回光風会展奨励賞受賞。
- 2017年現在：日展に21度目の入選。日展会友、光風会会員。

### 活動

- 1984年～：沖縄で日展会友の名渡山愛擴先生より沖縄の風景や花を中心に学ぶ。
- 1985年～：日展芸術院会員の藤本東一良先生を中心とした池袋絵画研究会にて、名渡山愛擴先生ともども毎年上京し、桐野江節夫先生に師事し、風景画、人物画など直接指導を受ける。バラは毎年桐野江先生のお供で茨城県のバラ園へ同行し現地で描いた。
- 1987年：パリに初めての取材旅行。
- 1989年：デパート沖縄三越にて個展を開催。以降毎年開催する。
- 1990年：沖縄本島や八重山にて、島々の祭りや踊りの取材を始める。
- 1992年：パリ、イタリアへ取材旅行。
- 2002年：ロサンゼルスへ取材旅行。
- 2004年：名古屋三越デパートにて沖縄物産展と同時、個展開催。
- 2006年：シンガポール伊勢丹デパートにて沖縄物産展と同時、個展開催。
- 2007年：春と秋、年二回の富士山の取材を始める。
- 2010年：カナダ・エドモントンに毎年取材旅行。
- 2012年：全国高校野球大会で春夏連覇した興南高校の記念作品を依頼され、130号の大作として描く。琉球セメントの2013年カレンダーに使用される作品を制作する。
- 2014年：ホテルオリオンモトブのオープンに向け館内を飾る作品を制作する。
- 2015年：
  - 2月、仙台市の晩翠画廊にて「～琉球の風～沖縄アーティストの共演」展に出品。
  - 5月、カヌチャリゾートホテルにて久々の絵画展開催。
- 2017年：沖縄科学技術大学院大学機構理事長ブレナー博士、初代学長ドーファン博士の肖像画を制作。琉球セメント2018年版カレンダーに使用される作品六点を制作。琉装の人物は琉球舞踊の踊り手であるモデルと直に向き合いながら描かれる。
- 2019年：デパートリウボウにて久しぶりの個展
- 2024年：琉球セメントの2025年版カレンダーに使用される作品を制作

### 顧客

- 作品：那覇市、沖縄かりゆしホテルズ、沖縄カヌチャリゾート、ホテルオリオンモトブ、リウエン商事、琉球セメント、琉球銀行、琉球リース 他多数
- 肖像画：沖縄県知事、沖縄市長、伊江島村長、沖縄科学技術大学院大学長、琉球銀行頭取、那覇市商工会会頭 他多数



玉城 栄一 祭りの音 (F100)



玉城 栄一 初舞台の日 (F100)



第10回日展(2023) 遠き日 玉城栄一



第9回日展(2022) 舞台稽古の日 玉城栄一